

社長の経営哲学の構築にお役立ちする

税理士法人 優和

経営者への活きた言葉

TEL 03-3455-6666
FAX 03-3455-7777

経営者への活きた言葉

社員は一日 10 時間働くべきものではない、家庭での時間を増やす 西井 孝明（味の素、社長）

1. 消費者に健康と栄養を届ける企業の社員が一日 10 時間も働くべきではない。家庭での時間を増やし、「うちの製品はこんなに使いにくいのか」といった日常の経験を商品開発や営業に生かすべきだ。ワーク・ライフバランスといわれるが、ライフは人生そのもので、仕事も生活もライフの中にある。そう考えれば自然と仕事の効率を高めようと変っていく。
2. 効率化を進めるためには経営者のリーダーシップとインフラ投資が必要だ。会議は短く、少なくする。情報共有は紙ではなく、画面で行う。こうした取り組みに対し、社員を前向きにするのが経営者の仕事だ。海外勤務の経験や育児経験を持つ男性など社員の多様性を増やしていくことも、会社全体の意識の変化につながるだろう。
3. 味の素に足りないのは、E S G（環境保護・社会貢献・企業統治）についての目標と計画だ。調味料を通じた食環境の改善は味の素の強みであり、独自性そのものだ。恒常的に取り組み、結果を示していきたい。

（参考：「週間東洋経済」2017 年 6 月 3 日号）

経営者のための危機管理

失敗を恐れず突き進む勇気を持つ

1. ホンダ創業者の本田宗一郎氏は生前、本田氏の要求に難色を示した社員にこう言ったといわれている。「やってもせんに。とべ」（やってもいなくせに、すぐ行け）。多くのメーカーは今、実際には何もやっていないのに、将来の心配ばかりしているように見える。これまでの成功体験はもはや通用しない。大手も創業時は、どこもベンチャーだったはず。失敗を恐れず突き進む勇気をいま一度、持つべき時だ。
2. メーカーが次代で勝つための条件は、次の 5 つが考えられる。(1) 考えるよりも即行動(2) 過去の成功体験は捨てる(3) 自社の強みは顧客に聞く(4) 異分野の才能を取り込む(5) 失敗を恐れずにリスクを負う。

（参考：「日経ビジネス」：2017 年 6 月 12 日号）

ワンポイント経営アドバイス

バランスシートをよくする

御手洗 富士夫（キャノン会長）

1. 「経営をよくするということは、バランスシートをよくすること」と指摘するのは、御手洗富士夫・キャノン会長だ。PL は半期や 1 年の結果を表すもので、利益をつくり出すのは簡単。しかし、バランスシートはその PL が何年分も蓄積された結果で、会社の実力はバランスシートにこそ如実に反映されている。
2. 「無理をして売上を伸ばそうとして増産を続け、ムダな在庫を抱え込み、キャッシュフローを悪化させることほど愚かしてことはありません。損益計算書の数字を作るためにバラントシートを悪化させるのは、本末転倒」とかつての売上げ至上主義を厳しく指摘した。

（参考：「週刊ダイヤモンド」：2017 年 6 月 10 日号）

古典に学ぶ

武器（ナギナタ）の目的

（解説）武士道は、「女性の弱さから自分を解き放って、男でも最も強く勇敢な者に値する、英雄的な堅忍不拔を示す」女性を、最もほめたたえた。それゆえ、若い少女たちは、自分の感情を抑えその神経を鈍くし、武器、とくにナギナタとよばれる長柄の刀を扱い、身を守るよう訓練された。武器練習の動機は戦場で使うためではなく、二つの目的（自己一身のためと家庭のため）にあった。

（参考：佐藤全弘（訳）新渡戸稲造「武士道」：教文館）